

ダンフあきた

NO.380 全日本建設交運一般労働組合（略称・建交労）秋田ダンフ支部
2018年8月6日発行 〒010-0976 秋田市八橋南1-2-29
Tel.018-823-7748 fax018-823-7751
Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp
一人はみんなのためにみんなは一人のために、一人が一人の仲間をふやそう、労災保険に加入しよう
田中 070 - 5324 - 4053

カマヤん 忠犬 ありむら港



ダンフ夏タイヤの注文

- 再生タイヤ 21,000円 (BS)
20,500円 (ヨコハマ扱い)
新品タイヤ 34,600円 (BS)
32,000円 (ヨコハマ)

消費税・送料込みの価格です。注文の時、メーカーを必ずお知らせください。希望の場所に配達します。

県外への配達には運賃実費が必要です。代金は3回以内で納入します。
※在庫確認が必要なので、注文の際に組合へ問い合わせてください。

なお、ヨコハマタイヤ販売店扱いは、弘進リトレッド製の再生タイヤとなります。

事務所のお盆休みは8月11日～16日です。

任意保険を自動車共済に切替えよう

安くて事故後のサービスも安心です。見積もりをしますので、事務所にまず電話を。

全国ダンフキャラバン実施

第25回全国ダンフキャラバン行動が行われ、ダンフ労働者の賃金引き上げなどの要請をしました。秋田県では国交省成瀬ダム工事事務所、国交省能代河川国道事務所に要請しました。（右の写真）成瀬ダム本体工事は重ダンフのみの使用で大型ダンフの使用はないとの返事でした。能代河川国道事務所では、国交省の指導事項に従わない元請名を出して、指導の徹底を求めました。

国交省は「現場の指導や総点検を通じて過積載を防止していきたい。適正な資材価格になるよう努めていきたい」、「現場説明書の指導事項でダンフ規制法12条に規定する団体等の使用促進を記述して、指導している」、「『指導事項が遵守されていない事例が見受けられるため指導事項の周知と指導の徹底をすすめる』という5月17日付けの本省から通知がきている」、「請負者には施工計画書の提出時に確実な指導を行っている」と回答しました。

過積載問題に対処するため改正道路交通法が施行された1994年に始まった全国ダンフキャラバン。重層下請構造の建設業のもとで一番下にいるダンフや建設労働者の労働条件改善に少しずつですが、役立ってきました。



交通安全推進団体の印
組合のプレートを出して堂々と仕事をしよう
組合加入者の紹介を！

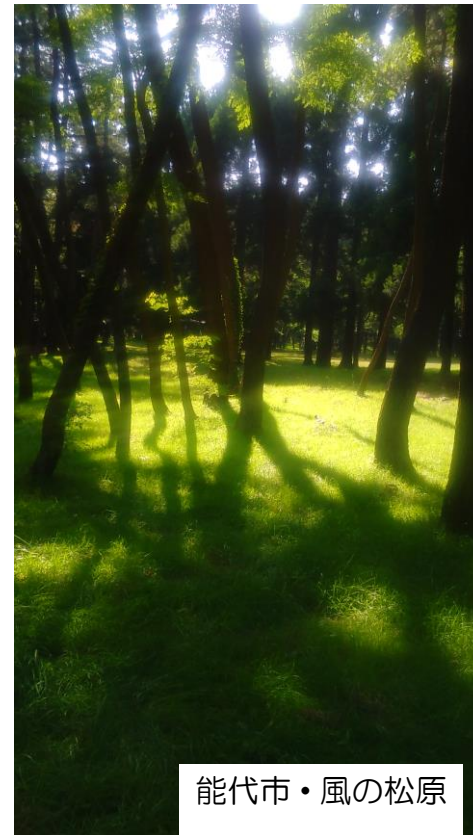
イージス・アショア…ことばのミニ事典

陸上配備型迎撃ミサイルシステム。イージス艦と同様、高性能レーダーと迎撃ミサイルで構成。安倍政権は2017年12月、1基約1千億円のこの米国製兵器2基の導入を閣議決定。「北朝鮮のミサイルから全国を守るため」だ。既に配備されている移動式のイージス艦、地上配備型迎撃ミサイルPAC3とは別に、自衛隊初の本格的なミサイル基地ができる。だが2018年6月、米朝首脳会談が実現。朝鮮半島の非核化に向け対話が進み「必要性」は揺らぐ。それでも政府の方針は変わらず、2023年度運用開始をめざす。

政府は配備候補地に秋田市の陸自新屋演習場と山口県萩市の陸自むつみ演習場を決定したが、住民は反発。特に新屋演習場周辺は住宅密集地である。レーダーの電磁波の影響はどうか。攻撃対象にならないか。ポーランドの米軍基地で建設中のイージス・アショア周辺では市の風力発電中止など経済発展を阻害。ロシアの反発も招き住民は不安を感じているという。



「仲間」外れ



能代市・風の松原

◆地震への備え

8月30日～9月5日は防災週間。地震への備えをチェックしましょう。震度5強ぐらいに揺れると、固定しない家具が倒れたり、補強されていないブロック塀が崩れることがあります。屋内と家の周りをチェックして、後回しにせず対策をとりましょう。家具の転倒防止器具、ガラス飛散防止フィルムなどを買ったものの放置していませんか。つっぱり棒などは装着後も緩んでいないか、ときどき点検しましょう。

固定器具を付けても、転倒する危険性がなくなったわけではありません。寝室には背の高い家具はできるだけ置かないようにします。

雑然とした部屋は地震の時、危険性が増します。通行を妨げたるものがあつたら移動し、足をとられないよう床には物を置かないようにするなど、普段から整理整頓を心がけます。

棚などの上に置いてある物はすべて強い地震で落下するものと考えて整理します。テレビ、デスクトップパソコン、置時計などは市販の固定マットを底に貼って落下を防止し、食器棚などの扉には開き戸ストッパーをつけます。

◆飲料水の備蓄

震度5弱ぐらい以上で電気、水道、ガスの供給が止まる場合があります。懐中電灯・ランタン、飲料水、缶詰などの保存食品、カセットコンロなどを準備しておきましょう。特に水道、ガスの復旧には時間がかかります。

飲料水は、1人1日2～3リットル必要です。1週間分の飲料水を流しの下、納屋、下駄箱の隅など、直射日光を避けて涼しい場所に備蓄します。

市販の飲料水は保存期日をカレンダーなどにメモして、適宜入れ替えます。水道水の場合、保存期間は常温で3日程度、冷蔵庫で10日程度ですが、保存期間が過ぎても沸かして飲めば問題ありません。日頃から水道水を水タンクやペットボトルに入れて飲料水や料理に使うようにすれば、備蓄を兼ねられます。

